

本脳炎の一斉予防接種は、昭和48年に初めて実施されるようになり、ワクチンの適正な管理という面から業室内実験を行い、次の成績を得た。

すなわち、1-2週間隔で初回免疫2回、10カ月後に追加免疫1回(1コースのワクチン)接種によって、HI抗体は100%陽転した。

ワクチン接種前血清でHI抗体価<1:10を示した28人については

(1) 初回免疫で38.5%、追加免疫によってHI抗体陽性率は100%に達し、平均抗体価(GM)は初回後8.8、追加免疫後47.9倍に上昇した。

(2) 初回免疫で陽転した個体では、追加免疫によって、全般的に高い免疫(1:80~1:160)ができ、初回免疫でHI抗体価<1:10を示したものは、追加後でも1:10~1:40の低い範囲で陽転した。

以上のことから、ワクチンの管理は良好であったと思われる。

#### 参 考 文 献

1) ウイルス実験学各論 国立予衛生研究所学友会編 156, 1967.

## 昭 和 48・49 年 度 日 本 脳 炎 感 染 源 調 査 成 績 について

宇良宗輝 仲地国夫 徳村勝昌 新城長善  
新城長重 福村圭介 永山 修

日本脳炎流行予測調査要領<sup>1, 2)</sup>(厚生省)に基づいて同疾病の感染源調査(ブタ情報)を昭和48年度は、沖縄本島北部、中部の2と畜場で、49年度は上記2と畜場の他に本島南部および宮古島の2と畜場を加え、4と畜場でと殺豚を採血して調査した。

術式は48年度は、従来のMacro法で、血清希釈1:1250まで、49年度は0.2%Getatin加BSを血清希釈液に用い、1:640まで希釈して、HI抗体価を測定した。

図および表1, 2は48年度の成績で、HI抗体価50%を越す陽性率の上昇がみられたのは、北部では第25週(6月19日)の血清で、53.3%を示し、中部では2週遅れて、第27週(7月3日)の63.3%であった。80%以上に達したのは、北部で第29週、中部では第34週であった。

2ME感受性抗体は両と畜場とも5-9月の血清から検出されたが、49年1-3月は検出され

なかった。

49年度の成績は、図および表3, 4, 5, 6に示すとおりである。すなわち、50%および80%陽転は、北部は最も早く、5月中旬の30%台から6月10-11日(第24週)の採取血清で80.0%に達した。中部では6月25日(第26週)の70%台から7月8日(第28週)には95%に、また南部では7月8日の30%台から7月16日(第29週)には80.0%に達した。宮古の豚では4回にわたって5-10%の抗体保有豚がみられたが一部母豚(かなりの頭数沖縄から導入される)を採血したことが伝えられている。

2ME感受性抗体は、北部、中部の豚で5月中旬から、南部の豚では6月中旬から検出されるようになったが、宮古の豚では検出されなかった。

参 考 文 献

- 1) 伝染病流行予測調査実施要領 昭和48年度 厚生省公衆衛生局保健情報課  
 2) 伝染病流行予測調査実施要領 昭和49年度 厚生省公衆衛生局保健情報課

と殺豚のHI抗体陽性率と2ME感受性抗体の検出率

表-1. 昭和48年度 北部食肉センター

採血月日	48					7					8				9				49			2	3
	4	5	6	11	19	26	3	10	18	24	30	7	17	21	28	4	17	1	17	20	5		
例数	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
陽性数	0	6	10	16	14	4	12	26	25	21	14	25	17	20	27	16	5	10					
陽性率%	0	200	333	533	467	133	400	867	833	700	483	833	567	667	900	503	166	333					
2ME処理数	0	6	10	14	14	3	12	25	24	21	13	25	16	20	26	15	5	8					
2ME感受性数		2	2	4	6	2	2	6	6	4	0	2	0	0	1	0	0	0					
検出率%		333	200	286	429	667	167	240	250	190	0	80	0	0	38	0	0	0					

表-2. 昭和48年度 中部食肉販売(株)

採血月日	48				7					8				9			49			2	3
	5	12	19	26	3	10	19	24	31	7	17	21	28	3	18	18	18	7			
例数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
陽性数	8	7	5	9	19	14	22	22	23	17	23	24	22	22	15	19	9				
陽性率%	26.7	23.3	16.7	30.0	63.3	46.7	73.3	73.3	76.7	56.7	76.7	80.0	73.3	73.3	50.0	60.3	30.0				
2ME処理数	6	5	5	7	19	14	22	22	22	17	23	24	22	21	13	16	9				
2ME感受性数	4	1	0	2	6	3	3	3	1	3	4	1	2	1	0	0	0				
検出率%	66.7	20.0	0	28.6	31.6	21.4	13.6	13.6	4.5	17.6	14.8	4.2	9.1	4.8	0	0	0				

表-3 昭和49年度 北部食肉センター

採血月日	49 4 16	5 20	6 10 17 25	7 1 8 15 22 29	8 5 12 19 26	9 20 20 17 15	10 15	11 11
例数	30	30	20 20	20 20 20	20 20 20	20 20 20	20 20	20
陽性数	0	10	16 13 19	12 17 20 19 20	20 18 19 19	17 19	19	14
陽性率%	0	33.3	80.0 65.0 96.6	60.0 85.0 100 95.0 100	100 90.0 95.0 95.0	85.0	95.0	70.0
2ME処理数		8	15 13 16	12 17 20 18 20	15 17 15	15	17	12
2ME感受性数		1	2 5 1	1 0 0 0 0	1 0 1 0	0	0	0
検出率%		12.5	13.3 38.5 6.3	8.3 0 0 0 0	5.6 0 5.9 0	0	0	0

表-4 昭和49年度 中部食肉販売(株)

採血月日	49 4 15	5 20	6 10 17 25	7 1 8 15 22 29	8 5 12 19 26	9 20 20 18 16	10 15	11 11
例数	30	30	20 20	20 20 20	20 20 20	20 20 20	20 20	20
陽性数	6	5	3 5 12	12 19 16 19 16	18 19 17 18	18 17	17	20
陽性率%	20.0	16.6	15.0 25.0 60.0	60.0 95.0 80.0	94.7 95.0 90.0	90.0	85.0	100
2ME処理数		4	2 5 10	12 19 15 19 15	17 19 15 18	14	15	19
2ME感受性数		1	1 2 4	0 2 2 2 0	0 1 0 0	0	0	0
検出率%		25.0	50.0 40.0 40.0	0 10.5 13.3 10.5 0	0 5.3 0 0	0	0	0

表-5 昭和49年度 沖縄県食肉センター(株) (南部)

採血月日	49 5 25	6 11	6 18	25	1	8	7 16	32	29	6	8 13	20	26	9 6	10 16	11 12
例数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
陽性数	0	1	2	2	8	6	16	11	10	15	17	15	20	17	17	17
陽性率%	0	5.0	10.0	10.0	40.0	30.0	80.0	55.0	50.0	75.0	85.0	75.0	100	85.0	85.0	85.0
2ME処理数	0	0	2	2	6	5	14	10	10	12	17	12	19	14	16	17
2ME感受性数			1	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
検出率%			50.0	0	16.7	20.0	7.1	0	0	8.3	0	8.3	0	0	0	0

表-6 昭和49年度 宮古食肉センター

採血月日	6 10	6 17	25	1	8	7 15	22	29	5	8 12	21	28	9 9
例数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
陽性数	0	8	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
陽性率%	0	15.0	5.2	10.0	0	0	0	0	5.0	0	0	0	0
2ME処理数	0	2	1	2					0				
2ME感受性数		0	0	0									
検出率%		0	0	0									

H I 抗体陽性率カーブと 2 M E 感受性抗体検出率

図-1 昭和48年度 北部食肉センター

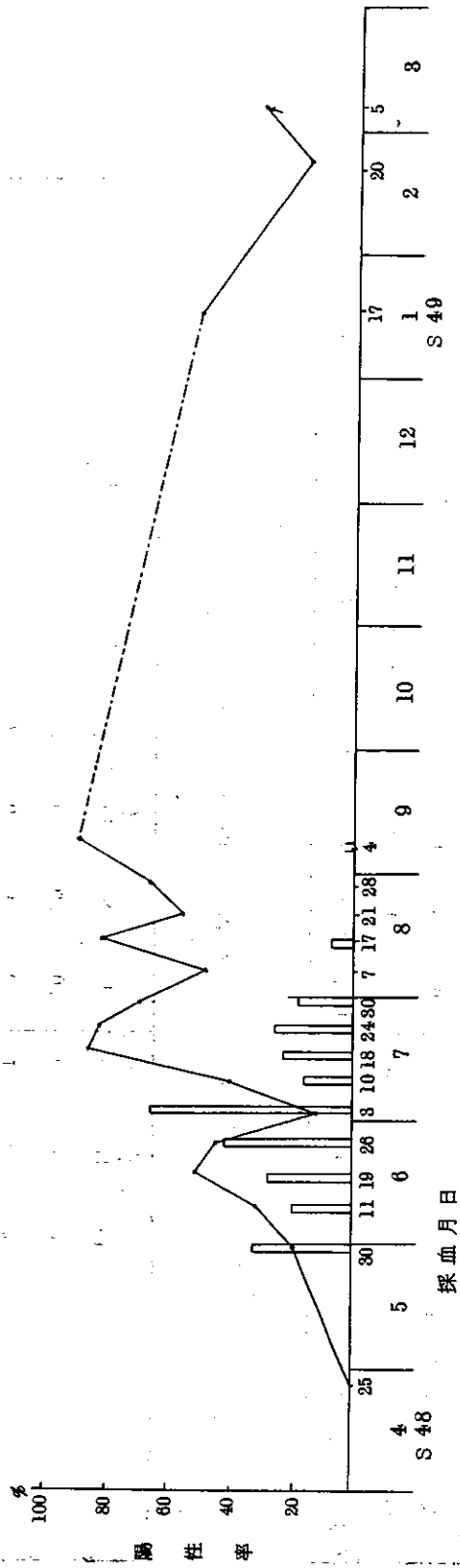
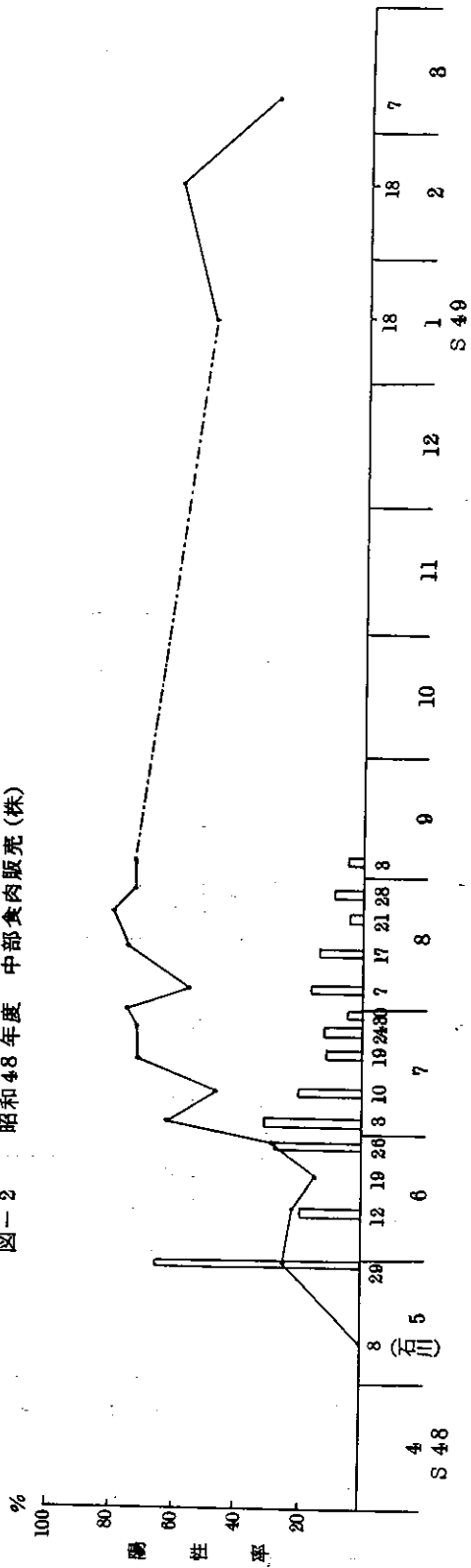


图-2 昭和48年度 中部食肉販売(株)



H1抗体陽性率カーブとMEME感受抗体検出率

